

ボーイスカウト東京連盟

あすなろ地区広報誌
第3号

2015年6月1日
組織拡充委員会

あすなろ地区 27 年度年次総会 開催

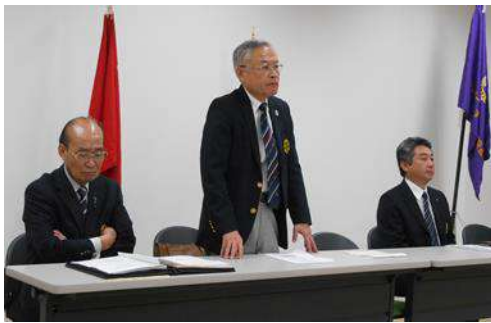
4月23日(木)、平成27年度あすなろ地区年次総会が、高井戸地域区民センターで開催されました。議事に先立ち、菊スカウト章が杉並12団の平岡拓実、杉並13団の榎田吏紀、室賀来知の3名のスカウトに授与されました。

また、地区表彰されたのは以下の方々です。

地区表彰状…杉並4団 常世田 琢、吉原 淳、杉並6団 井上 創、松本房江、赤松五子、杉並11団 牛山恵文、兼俊 亮の7名

地区有功記念章…杉並3団 星野友美、太田雄介、内田朋子、松尾英志、杉並4団 水野恵理子、島村安有美、杉並11団 岡本 晃、西本裕二、佐藤智子の9名

引続き議事に入り、26年度の事業報告と決算報告、27年度の事業計画と収支予算等が承認されました。



東京連盟年次総会、日本連盟全国大会で受章

5月23日(土)、東京連盟の年次総会がオリンピック記念青少年総合センターで開催され、多年にわたる功労に対して、杉並11団 鈴木信太郎、下地俊一、杉並5団 嶋崎正男の3名が県連有功章を受章されました。

また、東京連盟優良団として、平成26年度と平成27年度の継続登録時を比較し、スカウトが5名以上増加した団として、東京連盟で19の団のうち杉並6団が、平成27年度の継続登録時にスカウトを60名以上登録している団として、東京連盟で31の団のうち、杉並3団(64名)、杉並4団(71名)、杉並12団(63名)が年次総会で紹介されました。

5月30日(土)～31日(日)には、石川県小松市で日本連盟全国大会が開催され、額瀨日出雄 地区会計(杉並12団)が「たか章」を受章されました。



23WSJ 隊キャンプ 練馬・あすなろ地区合同派遣隊が開催

5月3日（日）～5日（火）、練馬地区・あすなろ地区WSJ合同派遣隊は八王子ひよどり山キャンプ場で訓練キャンプを開催しました。期間中は大都心地区と新多磨地区のWSJ訓練キャンプと重なって、多くのスカウトと指導者が集まり、「ミニジャンボリー」の雰囲気になりました。

キャンプではWSJを想定した活動とし、これまで準備してきた基本動作、礼式訓練、調理や歌、ソーラン節の確認のほか、班ごとに設定した日本文化を紹介するテーマを英語でプレゼンテーションして、英会話のレベルアップをめざしました。



派遣隊長からのメッセージ 23WSJ 練馬地区・あすなろ地区合同派遣隊 隊長 嶋田淳一

派遣隊の今までの活動状況と今後の予定をお知らせします。3月の結隊式から、5月末までに4回の訓練集会を行いました。各団の中核を担うスカウトが選ばれている実感を味わいながら、指導者として気が抜けない状況で活動しています。

WSJは外国隊との積極的な交流が大切なため英語を使ったプログラムにこだわり、集会では外国指導者や留学生に参加いただいて、国際色豊かな活動を実現しました。

「日本文化」のプログラムとして、各班は日本文化を代表するテーマを取り上げ、文化的な背景や、テーマに関連したゲームやクラフトを立案し、内容を模造紙に記載して、外国人ゲストの前で、全員が英語で発表しました。

また、同じサブキャンプに入る外国隊各国の特徴、文化を調査して資料にしました。

毎回の活動では「礼式訓練」「国旗掲揚」のほか、「A sprit of unity」「花は咲く」「ふるさと」の歌が正確に歌えるように練習しています。WSJでは「よさこいソーラン節」の競技会も予定されているため、熱心に練習しています。

6月は仕上げの集会を行い、WSJ直前の持ち物確認を経て、WSJに突入する段取りです。

あっという間に日々が過ぎていきますが、「Be prepared」を実践しつつ、今後の訓練集会をこなしていきたいと思います。



50周年おめでとうございます 中野7団



中野7団は昭和40年に東京第257団として中野区新井の地に発足して以来、今年で50周年を迎えることから、5月17日（日）、中野区立平和の森小学校（旧野方小学校）で50周年記念式典を開催しました。

式典では高橋団委員長長の挨拶、奥島日本連盟理事長・東京連盟長、鈴木地区委員長長の祝辞に続き、長い間使って傷んだ隊旗が新調され、各隊長に授与されました。



発団50周年を迎えて ボーイスカウト中野7団 団委員長 高橋 宏人



今から50年前の1965年に、私を含めた血気盛んなシニア(現ベンチャー)スカウト6名の熱い夢を実現するため、東京連盟はじめ、発団に尽力された指導者、父兄、地区友団の多くの方々ご尽力により、中野区新井の地に発団したのです。

この50年間の歩みの中で、中野7団がスカウティングから学んできたことは、「BPが始めたボーイスカウト運動」は「青少年の自立への道」のように思います。

ボーイスカウトの「ちかいとおきての実践、人のお世話をする、良き社会人になる、人の為に尽くす、弱い人を助ける」に共通する基本は「自立する事」と思っています。自立していない人は、自分の事で精一杯で他の人を幸せには出来ず、自立しない限り、他の人を幸せにすることは出来ないのです。

つまり、基本の「自立」が出来ていないスカウトにBPの精神を伝えても、言葉は理解出来ても、実践できないのです。例えば、野営用具の準備、水汲み・薪拾いなどの設営、荒天時の対応や食事、時間や約束を守ることによる連携、ハイキングルート判断、怪我の時の応急処置、危険を察知して回避し、予期せぬ出来事への冷静な対応など、与えられた責任を果たすことで自立でき、野外生活はスカウトを成長させ、自立させることができる要素の宝庫です。

BPは「ローバリング・ツウ・サクセス」の中で「自分のカヌーは自分で漕げ」としていますが、他人に依存せず、自立することで、「人の心の痛みがわかる」「人の喜びが素直に喜べる」「人に対して優しさや思いやりが持てる」という目標に近づけるのです。

最後になりますが、この世を今よりも少しでも良くなるよう、私は中野7団から、自立した志の高いスカウトと指導者を一人でも多く育成する事を使命とし、今後のスカウティングに精進したいと思います。

富士スカウト章を受章

5月8日（金）、本郷スカウト会館で開催された東京連盟理事会において、杉並11団の西村福太、北原慎一郎、三好 愛の3名に富士スカウト章が伝達されました。



写真は左から西村、北原、下地
地区副コミッショナー、三好

中野区民ふれあい運動会に奉仕

5月17日（日）第34回中野区民ふれあい運動会が、中野区立第二中学校グラウンドで行われ、指導者17名、スカウト9名の26名が参加しました。

ふれあい運動会は毎年5月に開催され、ボーイスカウト・ガールスカウトの奉仕も34回を迎えます。参加者は、中野区内の障害者と区民合わせて、約800名の人達が晴天の一日を運動会で楽しみました。

競技は、スプーン競争、紅白玉入れ、パン食い競争、紅白リレー、宝探し、障害物競争、電動と手動の車椅子の競争、100m競争、鈴割りなどで、スカウトの参加できる種目もあり、盛り上がりました。

スカウトの奉仕は、車椅子の介助、参加者の召集、審判の補助、場内警備と案内、視聴覚障害者等の伴走・補助など多彩で、参加者された方々の笑顔のお手伝いをすることができました。



各団でボーイスカウト体験会、バザーなどを開催

杉並第11団 ボーイスカウトとアウトドアを楽しもう

4月26日(日)、好天に恵まれて、杉並11団では「ボーイスカウトとアウトドアを楽しもう」を井草の森公園で開催し、多くの参加者が集まりました。

参加の子供達は該当する年令の各隊に加わり、一緒にシッポ取りなどのゲームや植物の観察、ロープ結びなどを体験しました。

また、ベンチャースカウトが立木に結んで作ったモンキーブリッジは、スカウトの渡り初めのあと、子供達も順番に体験しました。

昼食は非常食のドライカレーや焼いて溶けたマシュマロをビスケットに挟んでいただきました。

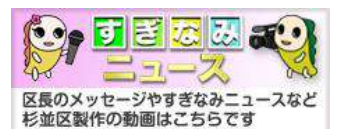


杉並第12団 一日体験を「すぎなみニュース」が取材、放映

4月19日(日)、杉並12団では「ボーイスカウト一日体験」を阿佐谷神明宮で開催しました。

参加の子供たちはスカウトと一緒にキャンプファイア形式で歌やゲームを楽しんだり、チェックポイントを回って結索や観察などをしました。

当日は杉並区の広報番組「すぎなみニュース」の取材があり、5月3日より16日まで、杉並エリアのケーブルテレビで一日体験の様子が放映されました。なお、杉並区役所ホームページにある右の「すぎなみニュース」をクリックし、「バックナンバー」の27年5月10日を指定すると、放映されたニュースを見ることができます。



杉並4団 カトリック荻窪教会でバザーを開催

杉並4団は4月26日（日）、カトリック荻窪教会でバザーを開催し、時間前から行列ができました。前庭ではスカウトお手製のフランクフルト、ホットケーキ、サンドイッチ、みそ汁、綿あめのほか、カレーライス、焼きそばなどが販売され、ゴム鉄砲の射的ゲームには子供達の歓声が上がりました。室内では手芸品、雑貨品などが販売されてにぎわい、「スカウト募集」のビラも配布しました。



杉並6団 桃井第三小学校でバザーを開催

杉並6団は5月17日（日）、桃井第三小学校でバザーを開催しました。校庭ではフランクフルト、焼きそば、焼いかなどが売られ、かき氷や綿あめに列ができ、水鉄砲で猛獣を倒す射的ゲームや、弓矢での風船あて、モンキーブリッジには子供達の歓声が上がりました。体育館では手芸品、雑貨品などが販売されてにぎわい、校庭のマーキーテントで「ボーイスカウト説明会」も開催しました。



中野 11 個 栄町公園で 11 団まつりを開催

中野 11 団は 5 月 10 日（日）、栄町公園で恒例の「11 団まつり」を開催しました。

ボーイスカウトらしいふだんの活動を見てもらうため、カブ隊はジャンボリーテント、ボーイ・ベンチャー隊は立ちかまどを訓練も兼ねて設営しました。また、木の枝に滑車を取り付けた単純な仕組みの「ロープのエレベーター」を若いリーダーが引き上げましたが、子どもたちに好評でした。

テント内での工作ではストローと紙でヒコーキを作って飛ばしたり、「シャボン玉作り」では針金ハンガーやタコ糸、うちわの骨組みなどを使い、大きなシャボン玉やたくさんのシャボン玉ができると、追いかけたり、つぶしたりして、小さな子も楽しめました。

立ちかまどでは、焼きマッシュマロをクラッカーにはさんだおやつ作りを体験してもらいました。



ボーイスカウト講習会 が開催されました

4 月 19 日（日）、東京連盟第 194 回ボーイスカウト講習会が中野区産業振興センターで開催され、平均年齢は 21 歳の若い指導者 14 名（あすなろ地区 12 名、大都心地区 2 名）が参加しました。

主任講師は中村淳 日連副リーダートレーナーで、青少年教育の現状やスカウト運動の成り立ちなどの座学のほか、班員のみinnで協力しながら紅葉山公園を中心にしたチェックポイントをまわるハイキング、ゲーム、ソング、屋外でのビーバー、カブの隊集会の模擬実習などが行われました。

9 月 13 日（日）にも、あすなろ地区ボーイスカウト講習会の開催が予定されており、大勢の参加をお待ちしています。

